



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 互応化学工業株式会社

コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 兼 経理部部長 (氏名) 荒田 圭久 TEL 0774-46-7777

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,823	△2.6	127	△33.8	152	△22.0	46	△62.7
30年3月期第1四半期	1,873	0.4	192	10.1	196	10.9	123	7.5

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 △18百万円 (ー%) 30年3月期第1四半期 145百万円 (554.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	7.11	ー
30年3月期第1四半期	18.91	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	16,243	13,851	85.0
30年3月期	16,968	14,423	84.8

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 13,814百万円 30年3月期 14,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	ー	0.00	ー	40.00	40.00
31年3月期	ー				
31年3月期(予想)		0.00	ー	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,885	1.8	148	△67.6	168	△71.3	116	△78.5	17.76
通期	7,884	3.7	397	△46.3	408	△52.5	283	△62.3	43.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	6,992,000株	30年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	669,882株	30年3月期	461,582株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	6,478,343株	30年3月期1Q	6,530,485株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、引続き緩やかな回復基調となりました。

堅調な設備投資に加え、個人消費も持ち直しの動きがある反面、原材料価格の高騰や米国の保護主義貿易による貿易摩擦のリスクなど、先行きの不透明感が拭えない状況も継続しております。

また、先般の大阪北部地震や平成30年7月豪雨などの自然災害、さらには連日の酷暑など日常生活に影響が及ぶ地球環境の変化に対し、今まで以上に「人そして地球を豊かにするものを社会に提供する」ことの重要性を強く認識し、それを実践する為の組織風土の創生にも、引き続き取り組んでおります。この取り組みについては、直ぐに結果に結び付くものではありませんが、社員一人ひとりが当社の存在意義を感じられることこそが、長期的な企業の存続と発展を支える原動力になると考え、社内外にその輪を拡げながら活動を続けております。

その結果、当第1四半期連結累計期間における業績につきまして、売上高は1,823百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は127百万円（同33.8%減）、経常利益は152百万円（同22.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46百万円（同62.7%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維関係は、国内市場では衣料向けが堅調に推移し前年同期を上回る結果となりましたが、海外市場では在庫調整の影響をうけたことにより大きく下回る結果となりました。

製紙印刷関係は、特殊加工用UVニスについては好調に推移しましたが、出版物のデジタル化が進行し、広告媒体の変化や出版物の減少によりダイレクトメール用圧着ニス、プレス加工用ニスの市場が低迷しました。また、省エネルギー対応によるUVニスの高感度化や環境対応による圧着ニスの水性化に注力しましたが全体としては低調な結果となりました。

化粧品関係は、国内市場においてヘアセット分野は低調でしたが、洗浄剤分野で新規獲得や安定した需要があり、また、海外市場においてはヘアセット分野が堅調に推移したことにより前年同期を上回る結果となりました。

その他工業用分野は、水溶性ポリエステル樹脂の国内市場で光学用フィルムの売上が低調に推移し、さらに一部製品において市場の縮小が進み国内市場は低調な推移となりましたが、海外市場において包装材料が好調に推移したことにより全体としては前年同期を上回る結果となりました。転写関係は、国内市場が一般住宅用用途で加工が一段落し低調に推移、海外市場においても在庫調整により前年同期を下回る結果となりましたが、市場全体としては堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は1,558百万円（前年同期比3.1%減）、営業利益は234百万円（同30.2%減）となりました。

(混合系製品)

混合系製品の国内市場は、引き続きアミューズメント業界の低迷による影響を受け低調、また、堅調であった照明・自動車関連も在庫調整の影響を受け低調な結果となりました。海外市場は、通信関連においてタッチパネル市場が中国の環境規制の影響を受けて低調な結果となりました。しかしながら世界的な市場の堅調な流れを受けほぼ横ばいとなりました。

その結果、当セグメントの売上高は265百万円（同0.0%減）、営業利益は34百万円（前年同期は損失11百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は16,243百万円と前連結会計年度末に比べ、724百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ658百万円減少し10,317百万円となりました。これは、原材料及び貯蔵品が95百万円、仕掛品が78百万円とそれぞれ増加しましたが、現金及び預金が873百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ66百万円減少し5,926百万円となりました。これは、有形固定資産が29百万円増加しましたが、投資その他の資産が89百万円減少したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ110百万円減少し1,855百万円となりました。これは、電子記録債務が64百万円、支払手形及び買掛金が52百万円、その他に含まれている預り金が103百万円とそれぞれ増加しましたが、賞与引当金が117百万円、未払法人税等が197百万円とそれぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ41百万円減少し536百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が45百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ572百万円減少し13,851百万円となりました。これは、自己株式が291百万円増加していることや、利益剰余金が215百万円、為替換算調整勘定が43百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から858百万円減少し972百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は195百万円(前年同期比は増加127百万円)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益114百万円(前年同期比41.7%減)に対し、減価償却費84百万円(同34.4%増)及び仕入債務の増加額122百万円(同71.0%増)などがあったものの、賞与引当金の減少額117百万円(同27.3%増)及びたな卸資産の増加額206百万円(同367.2%増)、法人税等の支払額197百万円(同176.8%増)があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は110百万円(同63.7%減)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入2,330百万円(同4.9%増)があったものの、定期預金の預入による支出2,320百万円(同3.0%増)及び有形固定資産の取得による支出115百万円(同57.8%減)があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は540百万円(同116.9%増)となりました。これは、自己株式の取得による支出291百万円(前年同期は一)及び配当金の支払額248百万円(前年同期比0.3%増)があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,407,260	6,533,518
受取手形及び売掛金	1,842,314	1,775,576
電子記録債権	275,009	271,885
商品及び製品	648,342	671,806
仕掛品	275,783	354,764
原材料及び貯蔵品	503,692	598,917
その他	27,383	112,183
貸倒引当金	△4,064	△943
流動資産合計	10,975,722	10,317,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,928,130	4,557,406
減価償却累計額	△3,125,701	△3,139,373
建物及び構築物(純額)	802,429	1,418,033
機械装置及び運搬具	6,362,707	6,671,854
減価償却累計額	△6,004,555	△6,024,183
機械装置及び運搬具(純額)	358,151	647,671
工具、器具及び備品	1,072,602	1,092,640
減価償却累計額	△885,218	△888,543
工具、器具及び備品(純額)	187,383	204,096
土地	2,218,114	2,218,114
建設仮勘定	940,363	47,741
有形固定資産合計	4,506,442	4,535,657
無形固定資産		
	73,476	67,916
投資その他の資産		
投資有価証券	1,285,926	1,250,605
繰延税金資産	114,403	59,850
その他	24,226	24,195
貸倒引当金	△12,174	△11,937
投資その他の資産合計	1,412,381	1,322,714
固定資産合計	5,992,300	5,926,288
資産合計	16,968,022	16,243,997

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	560,962	613,499
電子記録債務	638,472	703,307
未払金	213,188	235,722
未払費用	3,545	450
未払法人税等	205,578	8,360
賞与引当金	229,363	111,864
役員賞与引当金	28,500	7,125
その他	86,109	175,281
流動負債合計	1,965,721	1,855,610
固定負債		
役員退職慰労引当金	135,108	89,310
退職給付に係る負債	443,200	447,478
固定負債合計	578,309	536,789
負債合計	2,544,030	2,392,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,806,496	12,591,362
自己株式	△404,182	△696,010
株主資本合計	14,072,304	13,565,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	283,845	261,674
為替換算調整勘定	33,452	△10,223
退職給付に係る調整累計額	△1,970	△2,087
その他の包括利益累計額合計	315,327	249,363
非支配株主持分	36,360	36,892
純資産合計	14,423,992	13,851,598
負債純資産合計	16,968,022	16,243,997

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	1,873,210	1,823,787
売上原価	1,155,300	1,160,601
売上総利益	717,909	663,186
販売費及び一般管理費	525,376	535,705
営業利益	192,533	127,480
営業外収益		
受取利息	2,603	2,499
受取配当金	2,942	3,272
受取ロイヤリティー	4,231	—
為替差益	3,205	3,779
受取補償金	—	16,778
その他	1,019	4,439
営業外収益合計	14,002	30,769
営業外費用		
売上割引	2,805	3,383
支払補償費	5,959	—
持分法による投資損失	1,716	1,339
その他	—	590
営業外費用合計	10,481	5,313
経常利益	196,054	152,936
特別損失		
役員退職慰労金	—	35,056
固定資産除却損	0	3,560
特別損失合計	0	38,616
税金等調整前四半期純利益	196,054	114,319
法人税、住民税及び事業税	26,558	4,871
法人税等調整額	45,164	63,622
法人税等合計	71,722	68,493
四半期純利益	124,332	45,825
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	123,499	46,082
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	832	△256

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,607	△22,171
為替換算調整勘定	△24,805	△42,454
退職給付に係る調整額	△47	△123
その他の包括利益合計	20,754	△64,748
四半期包括利益	145,086	△18,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,620	△16,530
非支配株主に係る四半期包括利益	△534	△2,392

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	196,054	114,319
減価償却費	63,209	84,949
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△3,119
賞与引当金の増減額(△は減少)	△92,313	△117,498
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,375	△21,375
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	339	△45,797
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,227	5,450
受取利息及び受取配当金	△5,546	△5,771
為替差損益(△は益)	△1,260	△2,484
持分法による投資損益(△は益)	1,716	1,339
有形固定資産除却損	0	3,560
売上債権の増減額(△は増加)	△2,328	57,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	△44,153	△206,279
仕入債務の増減額(△は減少)	71,603	122,456
未払消費税等の増減額(△は減少)	△24,591	△71,852
未払金の増減額(△は減少)	26,946	9,503
未払費用の増減額(△は減少)	△8,697	△2,883
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△26,459	△17,520
その他の流動負債の増減額(△は減少)	95,447	111,034
その他	△41,535	△17,959
小計	192,280	△2,754
利息及び配当金の受取額	6,549	5,211
法人税等の支払額	△71,451	△197,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,377	△195,312
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,252,195	△2,320,523
定期預金の払戻による収入	2,222,337	2,330,858
投資有価証券の取得による支出	△1,292	△1,340
有形固定資産の取得による支出	△273,319	△115,401
無形固定資産の取得による支出	△453	△220
固定資産の除却による支出	—	△3,560
貸付けによる支出	△210	△694
貸付金の回収による収入	330	313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△304,804	△110,568
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△291,828
配当金の支払額	△247,946	△248,743
非支配株主への配当金の支払額	△1,512	△426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△249,459	△540,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,179	△11,575
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△436,065	△858,455
現金及び現金同等物の期首残高	2,657,643	1,831,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,221,578	972,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年6月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式208,300株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が291百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が696百万円となっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,607,762	265,447	1,873,210	—	1,873,210
セグメント間の 内部売上高又は振替高	47,722	—	47,722	△47,722	—
計	1,655,484	265,447	1,920,932	△47,722	1,873,210
セグメント利益 又は損失(△)	335,247	△11,059	324,187	△131,653	192,533

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△131,653千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,558,432	265,354	1,823,787	—	1,823,787
セグメント間の 内部売上高又は振替高	44,720	—	44,720	△44,720	—
計	1,603,153	265,354	1,868,508	△44,720	1,823,787
セグメント利益	234,054	34,122	268,177	△140,696	127,480

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,696千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。